

様式第二号の八 (第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月7日

岩手県知事 達増 拓也 殿

提出者

住 所 岩手県花巻市金矢第4地割52番地1

氏 名 成和建设株式会社

代表取締役 小田島 佐智子

電話番号 0198-27-2636

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	成和建设株式会社
事業場の所在地	岩手県花巻市金矢第4地割52番地1
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業〔06〕、職別工事業（設備工事業を除く）〔07〕
②事業の規模	年商：36億円
③従業員数	113名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(日本工業規格

A列4番)

- 5. 6. - 7

花保セ第148-B号

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） ○がれき類～発生抑制を考慮した工法の検討。 ○木くず～資材を加工し再利用の検討。 ○ガラス・陶磁器くず～分別の徹底を図った。 ○廃プラスチック類～分別の徹底を図った。 ○金属くず～分別の徹底を図った。 ○廃石綿等～適正処理の実施。		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ○がれき類～引き続き、発生抑制を考慮した工法の検討。 ○木くず～引き続き、資材を加工し再利用の検討。 ○ガラス・陶磁器くず～引き続き、分別の徹底を図る。 ○廃プラスチック類～引き続き、分別の徹底を図る。 ○金属くず～引き続き、分別の徹底を図る。 ○廃石綿等～適正処理の実施。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ○ガラス・陶磁器くず、廃プラスチック類 直接最終処分量を減らすために、中間処理で再生化に出来る物の分別を行っている。
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ○ガラス・陶磁器くず、廃プラスチック類 直接最終処分量を減らすために、更なる分別の徹底を図る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ○がれき類～コンクリートがら・アスファルトがらの中間処理（破碎）後、再生路盤材（RC-40）として100%再利用している。 ○木くず～解体材、生木（幹・枝・根）の中間処理（破碎）後、木材チップとして100%再利用している。		
② 計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ○がれき類～引き続き、コンクリートがら・アスファルトがらの中間処理（破碎）後、再生路盤材（RC-40）として100%再利用している。 ○木くず～引き続き、解体材、生木（幹・枝・根）の中間処理（破碎）後、木材チップとして100%再利用している。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） —		
② 計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） —		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		
② 計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ○ガラス・陶磁器くず～優良認定処理業者へ処理委託している。 ○廃プラスチック類～優良認定処理業者へ処理委託している。 ○金属くず～全量を再生利用業者へ処理委託しているが、優良認定業者以外の業者である。		

② 計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ○ガラス・陶磁器くず～引き続き、優良認定処理業者へ処理委託していく。現状は最終処分(安定型埋立)のため、優良認定処理業者かつ中間処理で再生化している業者をさらに開拓していきたい。 ○廃プラスチック類～引き続き、優良認定処理業者へ処理委託していく。一部、最終処分(焼却)業者に委託しているため、見直しを検討していきたい。 ○金属くず～引き続き、全量を再生利用業者へ処理委託していく。 合わせて優良認定処理業者を探していきたい。		
	※事務処理欄		

備考

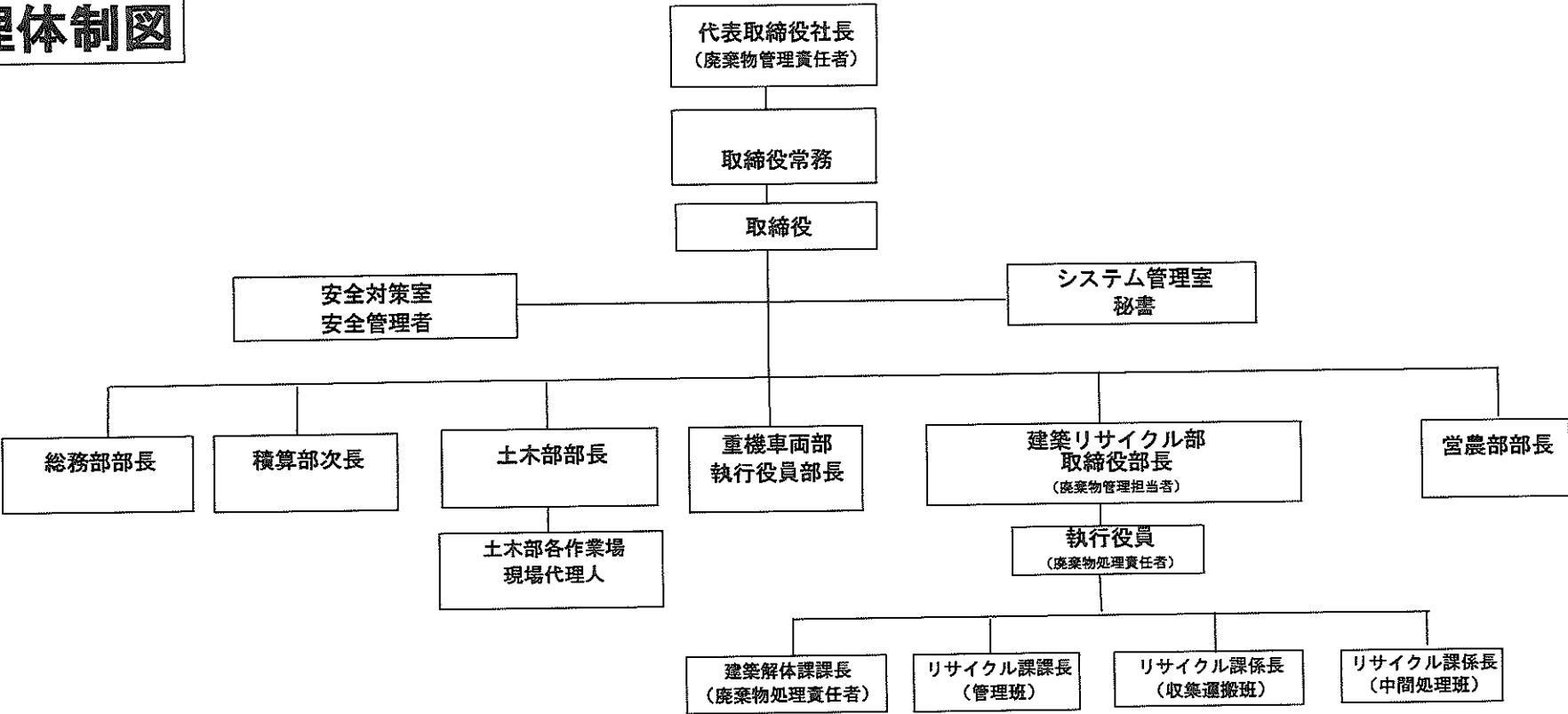
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 当該事業場において現に行っている事業に関する事項

④産業廃棄物の一連の処理の行程

廃棄物の種類	発生源	性状	処理方法 －凡例－ (再)：再生利用 (中)：中間処理 (最)：最終処分 ○：自己処理 ●：委託処理
がれき類	建設工事の施工過程 (構造物の除去等)	固形	骨材化(破碎)(再)○ 管理型埋立(最)●
木くず	建設工事の施工過程 (建物の解体等)	固形	チップ化(破碎)(再)○ 焼却(中)●→管理型埋立(最)●
ガラス・陶磁器くず	建設工事の施工過程 (建物の解体等)	固形	安定型埋立(最)● 埋め戻し材化(破碎)(再)● 切断(中)●→管理型埋立(最)●
廃プラスチック類	建設工事の施工過程 (建物の解体等)	固形	切断(中)●→管理型埋立(最)● 焼却(中)●→管理型埋立(最)● 圧縮(中)●→管理型埋立(最)● 安定型埋立(最)●
金属くず	建設工事の施工過程 (建物の解体等)	固形	スクラップ化(切断)(再)●
廃石綿等	建設工事の施工過程 (建物の解体等)	固形	管理型埋立(最)●

管理体制図



令和5年4月1日付

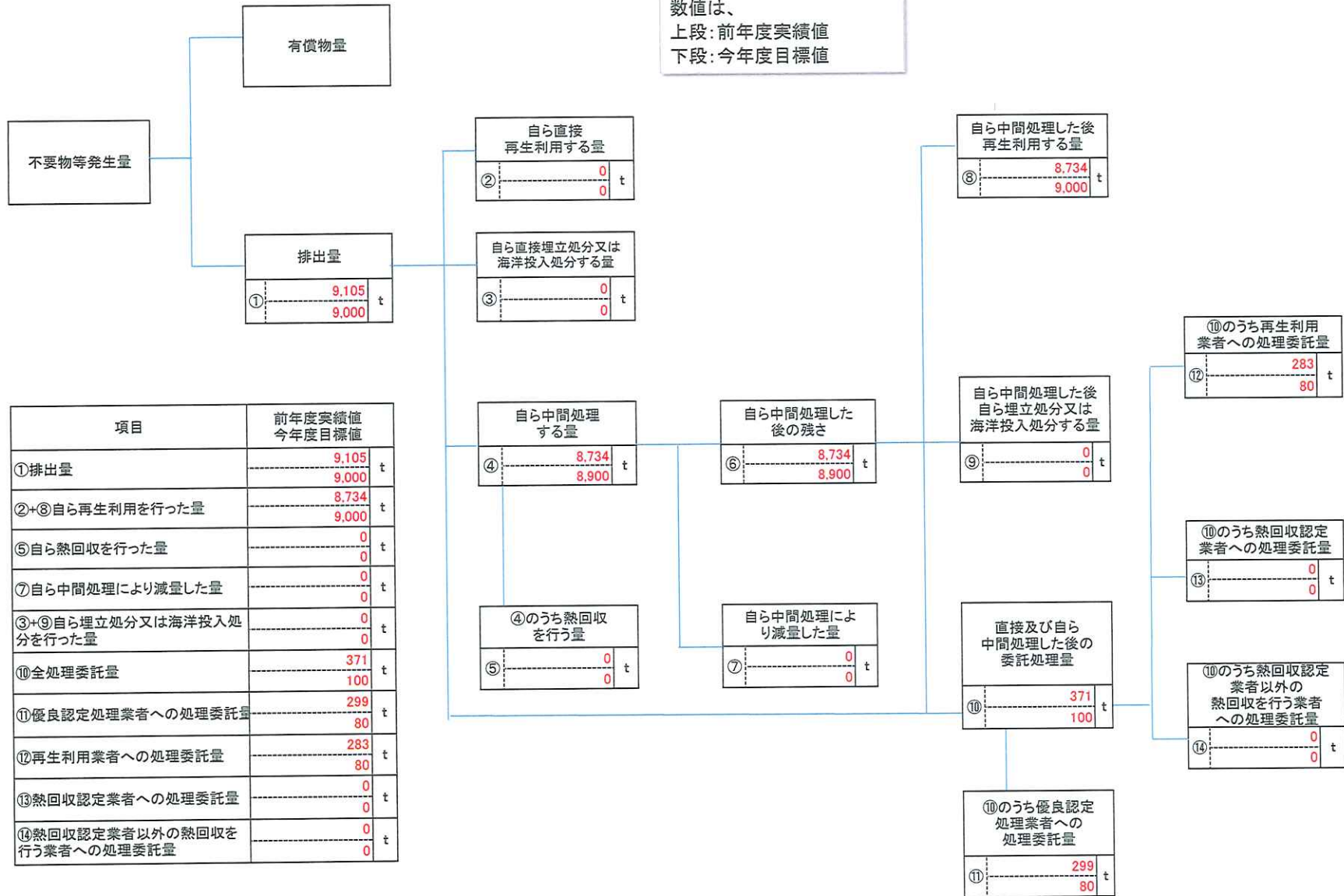
3

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
⑭	40	t
	25	

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: がれき類)

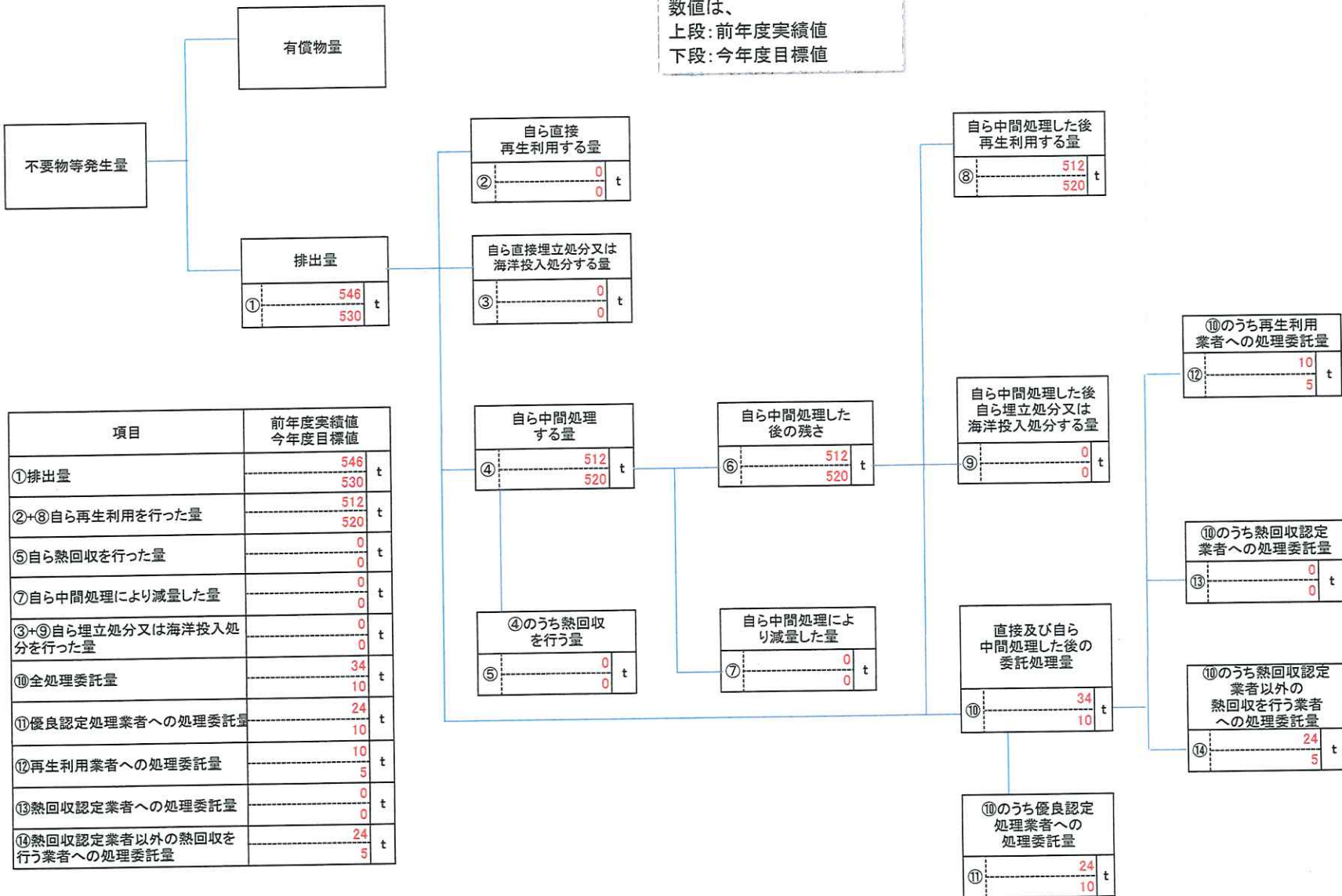
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 木くず)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

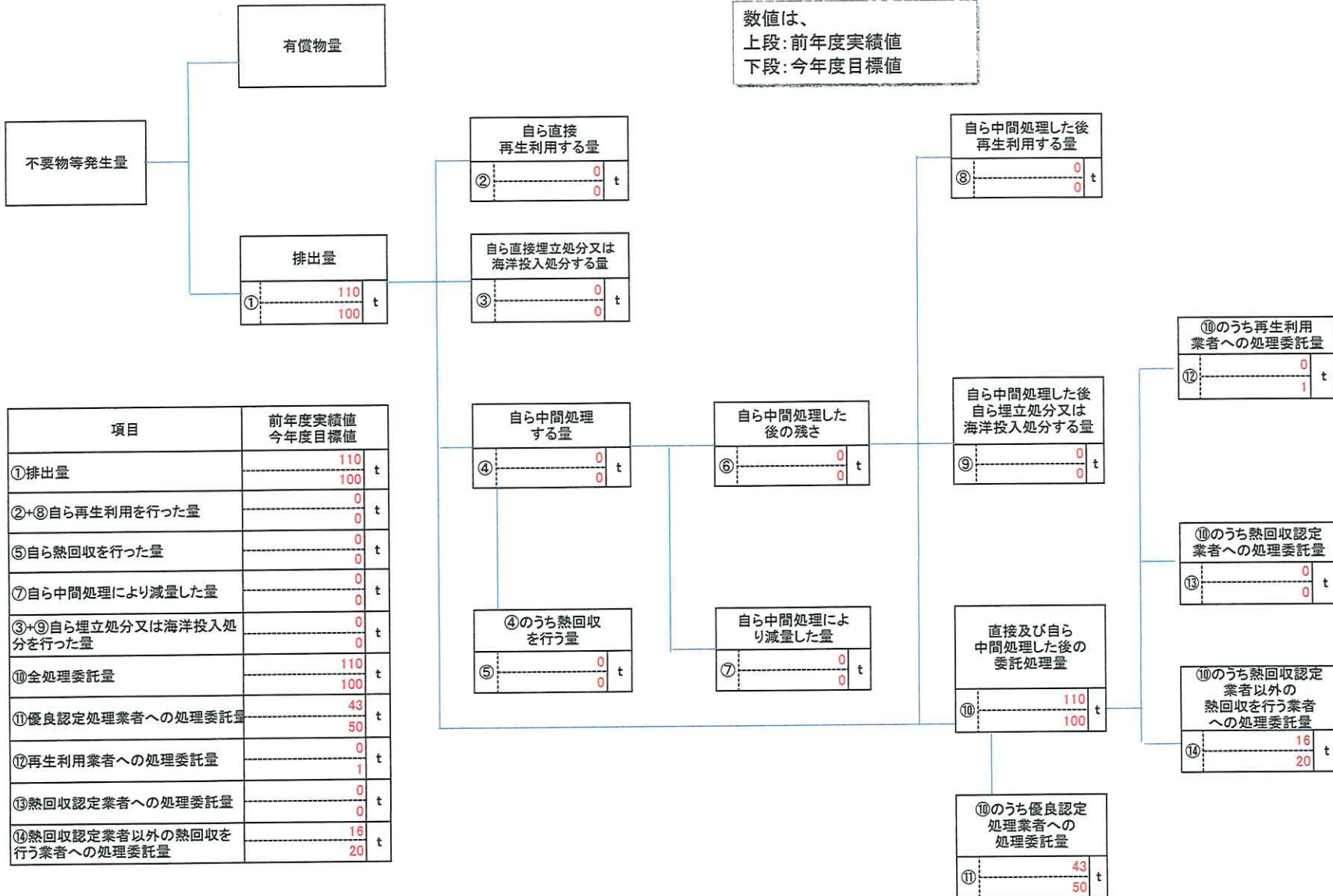


【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

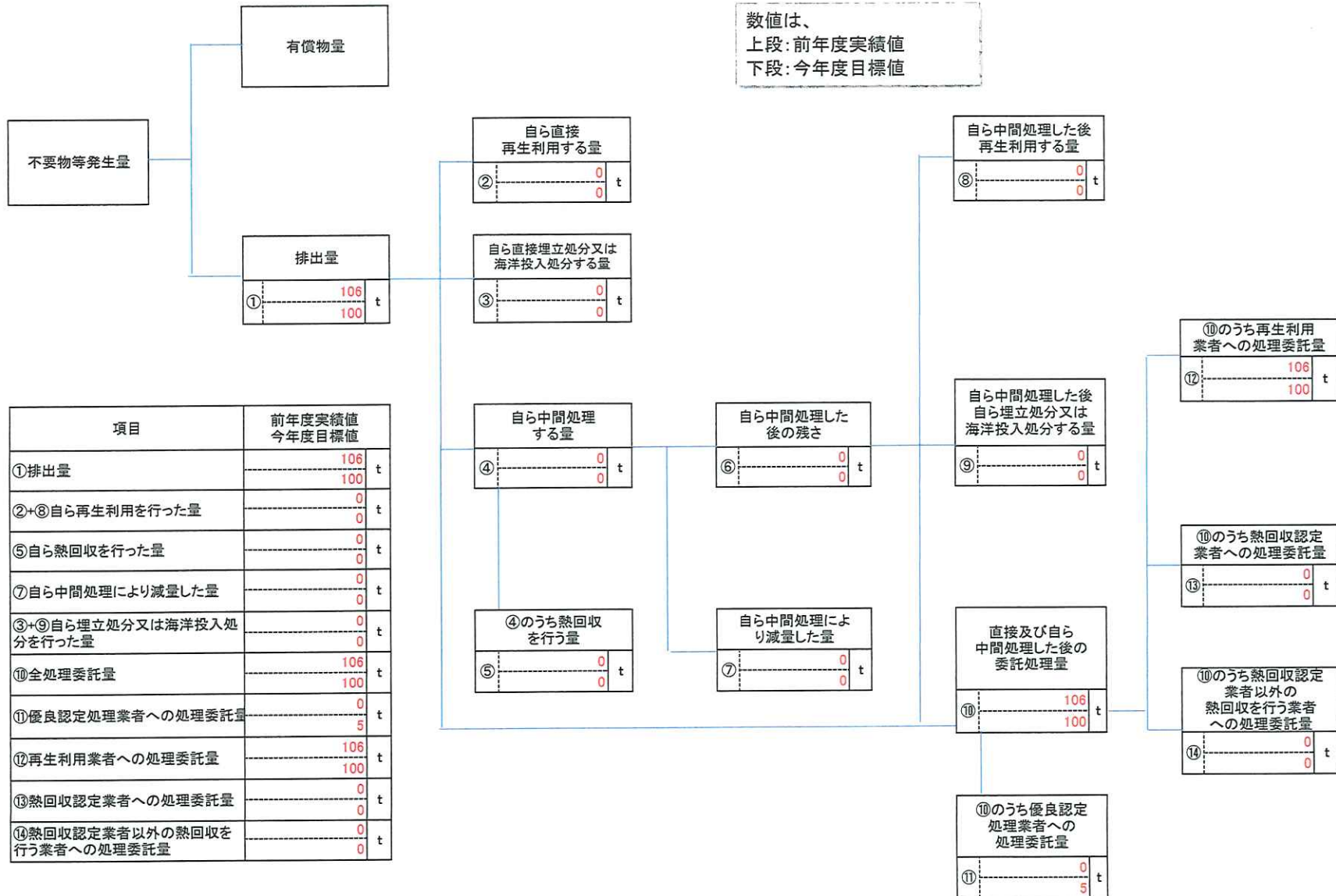


【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

)

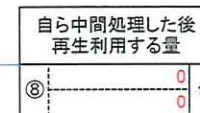
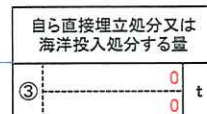
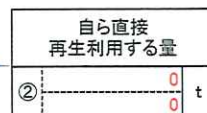
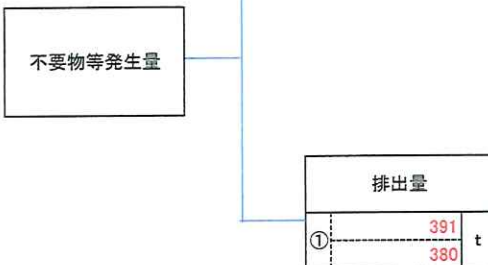
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



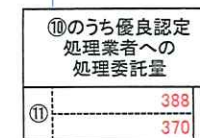
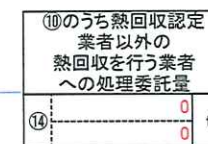
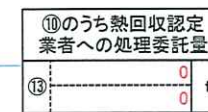
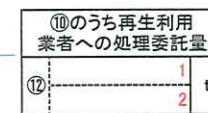
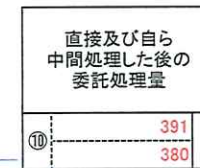
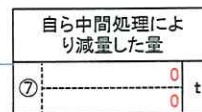
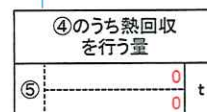
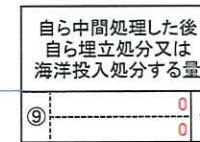
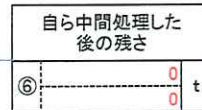
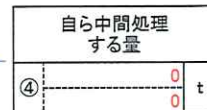
【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: ガラス・陶磁器くず)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	391	380
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	0
⑤自ら熱回収を行った量	0	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0
⑩全処理委託量	391	380
⑪優良認定処理業者への処理委託量	388	370
⑫再生利用業者への処理委託量	1	2
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0

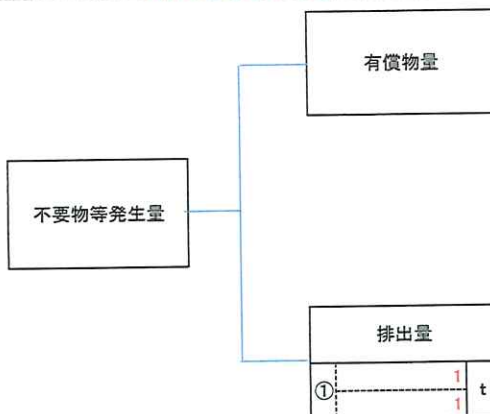


【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃石綿等

)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



自ら直接
再生利用する量

②

0 t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③

0 t

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧

0 t

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	1	1
②+③自ら再生利用を行った量	0	0
⑤自ら熱回収を行った量	0	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0
⑩全処理委託量	1	1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1	1
⑫再生利用業者への処理委託量	0	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0

自ら中間処理
する量

④

0 t

自ら中間処理した
後の残さ

⑥

0 t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨

0 t

④のうち熱回収
を行う量

⑤

0 t

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0 t

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩

1 t

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

0 t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

0 t

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

0 t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

1 t